

# さとえ学園新聞

発行所 佐藤栄学園  
〒330-0855 さいたま市大宮区上小町476  
電話：048-641-9642  
印刷：関東図書(株)  
発行：毎月10日  
1年：1,200円  
購読のお申し込みは上記へ

2面	埼玉栄高・埼玉栄中
3面	栄東高・栄東中
4面	花咲徳栄高・栄北高
5面	さとえ学園小・埼玉自動車大
6面	平成国際大・サトエ美術通信
7面	財務計算書
8面	特集

## 佐藤栄学園後援会 令和7年度 第55回通常総会終了



学園各校の教育環境整備をサポートする佐藤栄学園後援会第55回通常総会が、6月16日、さいたま市のロイヤルパインズホテル浦和にて開催され、560人の会員が出席した。



加藤喜久雄後援会会長

総会では、最初に加藤喜久雄後援会会長から、「学園各校とも、昨年度は教育実績において大変素晴らしい成績を取ることができました。これも学園の高度な教育環境と後援会の強力な支援の賜であります。これからも学園のさらなる発展のために、後援会の活動を充実させていきまします。ご支援ご協力をお願いいたします」と挨拶があった。

その後、加藤会長が議長に選出され、議案の審議を行った。

第1号議案 令和6年度事業報告(案) について  
第2号議案 令和6年度決算報告(案) 及び会計監算(案) について  
第3号議案 令和7年度事業計画(案) について  
第4号議案 令和7年度予算(案) について



常総会閉会後、懇親会が始まり、各校総出のステージでの歌や踊りも飛び出し、後援会の強力なパワーが感じられるにぎやかな会となった。

### 思いを巡らせ 長嶋茂雄氏を偲んで 一期一会から

学校法人佐藤栄学園 理事長 田中 淳子

去る6月3日、読売巨人軍終身名誉監督・長嶋茂雄氏が逝去されました。国民的スーパースターとして、希望を灯し続けた氏のご冥福を、心よりお祈り申し上げます。

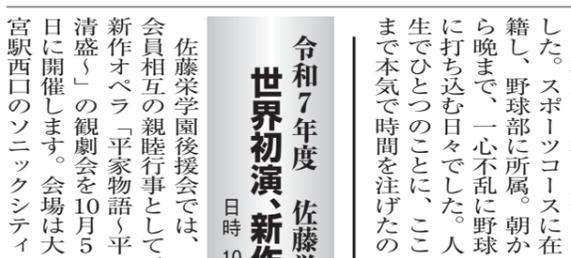
本学園では、かつて長嶋氏を講師としてお迎えし、全校生徒および保護者を対象とした講演会を開催したことがあります。その中で、高校時代に放った唯一のホームランの思い出を語ってくださいました。「昭和28年、大宮公園野球場で、母校・佐倉一高と熊谷高校

が対戦しました。あの時、センターのバックスクリーンにホームランを打ったんです。角度は45度くらいで、バットと—Iながら本当にいいホームランでした(笑)。いまでも高校野球の世界では伝説になっています。すばらしい試合で、僕らの球史の中でも忘れられない宝です」

そう熱く語られる氏の姿は、今なお鮮やかに記憶に残っています。プロ野球という華やかな舞台で輝きを放ち続けた長嶋氏が、私たちの地元・大宮公園野球場

での一打に格別の思いを寄せてくださったことに、驚きとともに深い親しみを感ずりました。

人生には、後から振り返って「かけがえのない瞬間だった」と思える場面があります。しかしその多くは、事前に「今がそうだ」と意識できるものではありません。長嶋氏が語った高校時代のホームランも、当時は多くの安打の中の「一打」に過ぎなかったかもしれません。それがのちに氏の人生を大きく変える一打となったように、私たち一人ひとりの日常の中にも、そうした大切な瞬間が数多く潜んでいると思います。



講演会での長嶋茂雄氏、故佐藤栄太郎初代理事長、田中現理事長

「人は勝手に生きていくのではありません。天地自然の恩恵のもとに授かった命なのだから、大事に大事に生きてください」と中高生たちへ語りかけました。これは、初代理事長・佐藤栄太郎先生が大切にしていた道元禪師の言葉「花は勝手に咲くのではなく、春風が吹くから咲く」と深く通じるものがあります。人は独力で咲くのではなく、誰かの思いや支えの中で花開くものです。私たち教職員も、生徒一人ひとりが咲くための春風でありたいと望みます。そして将来、彼らがまた誰かの春風となることを願っています。

あの講演会は、生徒に

人ひとりの日常の中にも、そうした大切な瞬間が数多く潜んでいると思います。講演会の中で長嶋氏は、「人は勝手に生きていくのではありません。天地自然の恩恵のもとに授かった命なのだから、大事に大事に生きてください」と中高生たちへ語りかけました。これは、初代理事長・佐藤栄太郎先生が大切にしていた道元禪師の言葉「花は勝手に咲くのではなく、春風が吹くから咲く」と深く通じるものがあります。人は独力で咲くのではなく、誰かの思いや支えの中で花開くものです。私たち教職員も、生徒一人ひとりが咲くための春風でありたいと望みます。そして将来、彼らがまた誰かの春風となることを願っています。

とつても、私たち教職員にとつても、まさに「一期一会」のひと時でした。一人の人物との出会いが、これほど心に残り、その人ならではの価値観に深く触れることがあるという事実は、日々の出会いがいかに尊いものであるかを、あらためて思い起こさせてくれます。

一期一会——今この時、この人、この言葉に出会えるのは、二度とない経験かもしれないかもしれません。だからこそ、学生・生徒・児童の皆さんには、目の前の出会いに真摯に向き合い、大切にすることを

私は現在、地元・横浜にて「株式会社金沢シーサイードFM」というラジオ局を経営しています。この会社は、私が20歳のときに企業や銀行から約1億円の資金を集めて設立したラジオ局です。現在は5期目に入り、「ただのラジオ局ではなく、今までにない新しいラジオに挑戦する」と掲げて、地域に根ざした情報発信を軸に、映像やSNS、Webを掛け合わせたメディア展開を行っています。

ラジオといっても、昔ながらのスタイルではありません。スポーツ、教育、福祉、地域企業、業のプランニング支援まで多分野にわたり、「地域の声を届け、未来をつくるラジオ」として活動を続けてきました。そして今では、日本で最も多くのスポンサー企業を抱えるラジオ局となりました。この挑戦の原点にあるのが、私の高校時代、埼玉栄高校の3年間です。

私は中学卒業と同時に地元・横浜を離れ、親元を離れた埼玉栄高校に入学しました。スポーツコースに在籍し、野球部に所属。朝から晩まで、一心不乱に野球に打ち込む日々でした。人生でひとつのことに、ここまで本気で時間を注いだのは、

### 夢も、仲間も、恩師も。全力で野球に打ち込んだ埼玉栄で得たもの

勝つても負けても、どんなときも励まし合い、支え合える。あの時一緒に汗を流したからこそ、今でも信頼できる関係が続いています。

は、あの3年間だけかもしません。特に強く感じていたのは、高校生活で得た以下の3つのことです。

1 血を吐くほど努力することの意味

今の時代にはそぐわない表現かもしれませんが、私は本当に「血を吐くほど努力する」ということを経験しました。成果がすぐに出るわけでもない。でも、限界を超えて努力した経験そのものが、その後の人生を生き抜く力になります。

2 仲間の大切さ

栄で出会った仲間は、今でもかけがえのない存在です。高校生のみなさん、高校での3年間は、人生の土台をつくる特別な時間です。将来の夢がまだ見えていなくても構いません。今の自分のできることを本気でやってください。

そして、人とのつながりを大切にしてください。仲間、先生、家族? そうした人たちの関係が、あなたの将来を想像以上に支えてくれるはずです。

挑戦に失敗はつきものですが、むしろ、失敗からしか学べないこともたくさんあります。年齢なんて関係ありません。何歳になっても、何度でもやり直せるし、挑戦はできます。高校生活で過ごす一日一日を、どうか全力で。

みなさんの未来が、自分らしく輝き続けることを、心から願っています。



松原 勇稀  
株式会社金沢シーサイードFM代表取締役  
埼玉栄高等学校 平成29年度卒

More For You  
もっと、街・暮らし・笑顔のために

POCHACCO  
© 23 SANRIO CO., LTD. APPR. NO. 647774

武蔵野銀行  
さいたま市大宮区桜木町1-10-8  
TEL.048-641-6111

SUBARU

埼玉スバル株式会社  
本社/さいたま市中央区上落合8-4-11  
TEL.048-852-0131  
https://www.saitama-subaru.co.jp

だれでもトラック

ELFmio  
関東いすゞ自動車株式会社  
本社/〒370-1202 高崎市宮原町1-21  
TEL.027-346-1111 FAX.027-347-0231  
https://www.kanto-isuzu.co.jp/

ICHIDO × SPORTS

頑張る君にエール  
~ FOR THE BEST PERFORMANCE ~

日本道路株式会社

金融+で、未来をプラスに。

埼玉りそな銀行  
RESONA

大宮西支店

埼玉りそな銀行

高校1年

進路講演会実施

高校1年生進路講演会を、6月16日に普通科を、23日に保健体育科を対象に実施した。普通科は次年度の文理選択を、保健体育科はキャリア選択

を主題に、ベネッセより講師を招き、それぞれの特性に合わせた講演を行った。進路選択と、その進路に向かうための学力向上が重要であると伝えた。自分の進路を定めることは、自分の人生の方向性を決めることと他ならず、その目的に向かうための推進力となるのが学力であるとの講話が

あった。1年生のこの時期に学力を維持し、さらに向上させることの大切さを訴えた。今後も、受験を控えた3年生ばかりではなく、全学年の生徒に働きかけ、その時期毎に必要な考え方や行動を示し、各自の成長や自律を促していきたい。

「大学進学ガイダンス」は国公立をはじめ、有名私立大学と、専門学校数校を含めた計23校の入試広報担当者や、生徒が希望する学校を自ら選択し直接話を聞くことで、生徒の受験に対する意識の向上に繋げようというものである。この3日間で延べ5637名の生徒が参加した。

生徒によっては3日間参加する者もあり、自らの進路を改めて真剣に考える良い機会となった。説明を受けた生徒からは「参考になった」「具体的な情報が多かった」「高校の勉強をより一層頑張ろうと思った」といった前向きな言葉が多く、非常に有意義な行事となった。

普通科1年生を対象として6月9日、各教室で企業探究活動が実施された。これは教室でインターンを体験し、実在する企業と共に未来をつくるという「コーポレートアクセス」というプログラムである。今回は、動画「新人研修」を視聴して課題の取り組み方を確認し、班ごとに企業を育みたい。

α選抜クラスの生徒たちは6月9日、「日本最高学府の一つである東京大学に触れて受験の意識を高める」ことを目的に、東京大学駒場キャンパスを訪問した。当日は、東京大学の特任助教の堀様と学生3名にご案内いただいた。大学紹介・図書館見学・学食ランチ・東大生との交流会・実験室見学を実施した。

改めまして、東京大学の皆さま、有意義なお時間を誠にありがとうございました！

2年生の医学・難関大クラスの生徒たちが6月18日に校外学習として、それぞれの進路に関連する最先端施設を訪問する校外学習を実施した。医学クラスは千葉県の量子科学技術研究開発機構の量子医学研究所(量医研)を、難関大クラスは東京大学史料編纂所を訪れ、各分野の第一線に接触した。

量医研では、放射線治療の基礎から重粒子線治療装置に至るまでの医療技術を見学。核医学の応用や認知症の診断・予防に関する最新研究の講義を受け、現役医師との質疑応答も行われた。生徒たちは先端医療の現場に触れることで、治療法開発に挑む医師の姿勢に触れ、将来の医療に対する理解と関心を一層深めた。

一方、難関大クラスは東京大学史料編纂所を訪れ、資料の扱い方や大

三者面談が、6月9日から13日までの期間で実施された。授業は3時限で終了とし、放課後各教室にて三者面談が行われた。

三者面談は家庭と学校が意思の疎通を図り、生徒の健全な発育を促すための連絡を取り合う重要な場である。各担任は、日頃からデジタルツールでの記録や個別面談などで、生徒の学習状況や生活状況の把握を行っているが、家庭での様子や細かい何かつたうで、生徒がこれから成長していくためには何が必要なのか、担任と保護者が一体となって、真摯に考える機会となった。

1年生は、初めての三者面談にやや緊張した面持ちではあったが、校外模試と中間試験の結果から分析される学習面の成果や、初めての中学校生活の様子につ

「大学進学ガイダンス実施」

α選抜クラスの生徒たちは5月29日、Uber Eatsを提供する「Uber Eats Japan」本社に訪問した。当日は、お話を伺うだけでなく、社内見学や課題提案解決型ディスカッションを実施した。

ディスカッションのトピックとしては、高校生の視点から新プロジェクトである「Uber Teens」の課題点などについて意見交換するものだった。Uber Eatsの方からも、消費者としての高校生に対して、多くの質問があった。

本活動を通して、グローバル言語の英語の重要性や単純な報告会ではなく議論をするミーティングの重要性を身に覚えて感じた。そして、フリーアドレスの社内や多国籍の方々がいる職場環境に全ての生徒が刺激と感銘を受けていた。

改めまして、Uber Eats Japanの皆さま、有意義なお時間を誠にありがとうございました！

企業探究活動

からの課題について話し合った。これからインターンシップに行くつもりで、企業の商品やサービス、広告やその企業が関わった仕事についてまとめ、理解を深めた。どのクラスも、グループで活発に意見交換をしてい

た。実在する企業について探究し、キャリアや進路について考えるきっかけになった。グループ活動やプレゼンテーションがあるので、チームで物事を推進する力や表現力が養われる。引き続き、コーポレートアクセスを通じて主体性や創造力を育みたい。

1年生の医学クラスの生徒たちが日本大学医学部を、難関大クラスの生徒たちが、SDGスティーブリングとして東京ジャマイカ・東京復活大聖堂(ニコライ堂)・明治大学博物館を6月17日にそれぞれ訪問した。

日本大学医学部見学という内容で行われた。前半は、医学部生より日本大学医学部について説明していただいた。大学とは何か、医学部では何を学べるのかを伺い、医学部に在籍している4年生からのリアルな声に、生徒は興味深々聞いていた。後半は、日本大学医学部附属板橋病院の見学。病院についての説明を聞いた後に、実際に産科、小児科、救急救命の施設見学をした。見学中心に

れぞれの科の看護師の方にお話を伺うことができた。質問にも熱心に答えていた。生徒たちは、命の誕生や命を守る最前線の現場を見て、医学分野に対する関心がさらに高まった様子だった。

東京ジャマイカでは、日本ではなじみの薄いイスラム教や西アジア、トルコの歴史や習慣、文化などについて講師の先生から説明を受けた後、実際に礼拝所を案内された。生徒たちは、礼拝所内で、女性のドレスコードを体験し、男性と女性の礼拝する場所が建物の中で分かれていることなども、実際に目で見て感じる

ことができた。東京復活大聖堂(ニコライ堂)では、聖堂内の荘厳な雰囲気の中で、日本では数少ない正教会について、カトリックなどの宗派との違いを中心にその成り立ちについて説明を受けた。最後に明治大学博物館では、ガイドの解説付きで展示物から歴史を学ぶことができた。

今回の校外学習で、普段の授業内容を実際に見学・体験することで、より深く学習することができた。

潜入! α選抜クラス、Uber Eats Japan

α選抜クラスの生徒たちは5月29日、Uber Eatsを提供する「Uber Eats Japan」本社に訪問した。当日は、お話を伺うだけでなく、社内見学や課題提案解決型ディスカッションを実施した。

ディスカッションのトピックとしては、高校生の視点から新プロジェクトである「Uber Teens」の課題点などについて意見交換するものだった。Uber Eatsの方からも、消費者としての高校生に対して、多くの質問があった。

本活動を通して、グローバル言語の英語の重要性や単純な報告会ではなく議論をするミーティングの重要性を身に覚えて感じた。そして、フリーアドレスの社内や多国籍の方々がいる職場環境に全ての生徒が刺激と感銘を受けていた。

改めまして、Uber Eats Japanの皆さま、有意義なお時間を誠にありがとうございました！

SDL 中1 医学クラス 日本大学医学部訪問、中1 難関大クラス SDGスティーブリング 将来への意識を高める

1年生の医学クラスの生徒たちが日本大学医学部を、難関大クラスの生徒たちが、SDGスティーブリングとして東京ジャマイカ・東京復活大聖堂(ニコライ堂)・明治大学博物館を6月17日にそれぞれ訪問した。

日本大学医学部見学という内容で行われた。前半は、医学部生より日本大学医学部について説明していただいた。大学とは何か、医学部では何を学べるのかを伺い、医学部に在籍している4年生からのリアルな声に、生徒は興味深々聞いていた。後半は、日本大学医学部附属板橋病院の見学。病院についての説明を聞いた後に、実際に産科、小児科、救急救命の施設見学をした。見学中心に

れぞれの科の看護師の方にお話を伺うことができた。質問にも熱心に答えていた。生徒たちは、命の誕生や命を守る最前線の現場を見て、医学分野に対する関心がさらに高まった様子だった。

東京ジャマイカでは、日本ではなじみの薄いイスラム教や西アジア、トルコの歴史や習慣、文化などについて講師の先生から説明を受けた後、実際に礼拝所を案内された。生徒たちは、礼拝所内で、女性のドレスコードを体験し、男性と女性の礼拝する場所が建物の中で分かれていることなども、実際に目で見て感じる

ことができた。東京復活大聖堂(ニコライ堂)では、聖堂内の荘厳な雰囲気の中で、日本では数少ない正教会について、カトリックなどの宗派との違いを中心にその成り立ちについて説明を受けた。最後に明治大学博物館では、ガイドの解説付きで展示物から歴史を学ぶことができた。

埼玉栄高等学校版 〒331-0078 さいたま市西区 西大宮3-11-1 048(624)6488

情報教育 情操教育「身の回りのマナー」について考えるが全生徒を対象に実施された。昨年自分自身の身の回りにおける「マナー」例を挙げ、「NGマナー」を付箋に書き出し、各グループでなぜ「NGマナー」なのか考えさせ、話し合いを行い、マナーの必要性について、最後にアンケートに答えさせた。「マナーの必要性」とマナーを知っておくことで自

埼玉栄中学校版 〒331-0078 さいたま市西区 西大宮3-11-1 048(621)2121

笑顔のために... All for your smile UCHIYAMA 商業施設・マンション設計施工のご用命は ウチヤマ建設株式会社 〒331-0047 埼玉県さいたま市西区指扇946-1 TEL: 048-624-5019 FAX: 048-624-5021 www.ut-tec.com E-mail: info@ut-tec.com

量子科学技術研究 開発機構・東大で学ぶ 2年生の医学・難関大クラスの生徒たちが6月18日に校外学習として、それぞれの進路に関連する最先端施設を訪問する校外学習を実施した。医学クラスは千葉県の量子科学技術研究開発機構の量子医学研究所(量医研)を、難関大クラスは東京大学史料編纂所を訪れ、各分野の第一線に接触した。

三者面談実施 生徒の個性を伸ばす 三者面談が、6月9日から13日までの期間で実施された。授業は3時限で終了とし、放課後各教室にて三者面談が行われた。

SDL 中2 量子科学技術研究 開発機構・東大で学ぶ 2年生の医学・難関大クラスの生徒たちが6月18日に校外学習として、それぞれの進路に関連する最先端施設を訪問する校外学習を実施した。

SDL 中1 医学クラス 日本大学医学部訪問、中1 難関大クラス SDGスティーブリング 将来への意識を高める 1年生の医学クラスの生徒たちが日本大学医学部を、難関大クラスの生徒たちが、SDGスティーブリングとして東京ジャマイカ・東京復活大聖堂(ニコライ堂)・明治大学博物館を6月17日にそれぞれ訪問した。

埼玉県信用金庫 本部 048-526-1111 (代) 熊谷市久下4-141

普通車専門 太陽グループ 埼玉県公安委員会指定 日進自動車教習所 0120-86-2455 さいたま市西区西遊馬2474

東京海上日動 埼玉中央支店 マーケット開発チーム 〒330-9515 さいたま市大宮区坂本町1-10-17

大成ロテック For a Lively World 大成ロテック株式会社 北関東支社 さいたま市浦和区瀬ヶ崎2-3-11 TEL: 048-711-5411







# 日本語別科入学式



迎賓特別ルームにて6月19日、令和7年度日本語別科入学式が挙行された。今年度は26名(2年コース)の新入生を迎え入れた。柏木学長より式辞として「言葉や文化の違いを乗り越えて、たくさんの人と話を一緒に学びましょう。ナニを学んでほしい旨が伝えられた。」

迎賓特別ルームにて6月19日、令和7年度日本語別科入学式が挙行された。今年度は26名(2年コース)の新入生を迎え入れた。柏木学長より式辞として「言葉や文化の違いを乗り越えて、たくさんの人と話を一緒に学びましょう。ナニを学んでほしい旨が伝えられた。」

# 平成国際大学版

〒347-8504  
加須市水深  
大立野2000番地  
0480(66)2100

## 法学部・スポーツ健康学部 学部紹介展示中



平成国際大学の本館入って左側の北ラウンジでは、昨年度より、法学部およびスポーツ健康学部の学部紹介の掲示の充実をはかりました。



法学部では、昨年度より、各研究会の紹介ポスターを掲示しています。また、今年度は、学部紹介のポスターを新たに掲示しました。スポーツ健康学部では、

定での50m走、握力、長座体前屈等の学部創設以来の最高記録を展示し、立ち幅跳びの学内記録に対応した体験コーナーを設けています。また、下肢の動作バランス

学部の特色および教員紹介ポスター、学部が開催する各種行事の写真を集めたポスター、そして昨年度の卒業研究優秀賞を各分野で出している。うち一つは今年2月の三大学合同発表会にて三大学長賞を受賞しております。また、体力測定

「学問のすすめ」において、個人が良く生き、社会に貢献するために学問が不可欠であると記されている点に触れられた。そして、平成国際大学もまた、「人に役立つ人になる」ことを教育方針の基本に据え、学問を通じて日本や世界のために尽力する人材の育成を目指している。是非とも



## 学業成績優秀者表彰式

迎賓特別ルームにて6月26日、令和6年度学業成績優秀者表彰式が開催された。

令和6年度の各学部・学年において上位1位から6位の学業成績をおさめた学生一人一人に、浅野副学長より表彰状が授与された。

浅野副学長よりお祝いの言葉が述べられ、その中で、福沢諭吉の「学問のすすめ」において、個人が良く生き、社会に貢献するために学問が不可欠であると記されている点に触れられた。そして、平成国際大学もまた、「人に役立つ人になる」ことを教育方針の基本に据え、学問を通じて日本や世界のために尽力する人材の育成を目指している。是非とも

7月19日(土)	8月2日(土)	8月16日(土)
8月23日(土)	9月13日(土)	

開催日	法学部	スポーツ健康学部	情報デザイン学部(仮称・設置認可申請中)
7月19日(土)	婚活と臓器移植の共通点!? ~経済学でマッチングを考える~ 北條陽子 准教授	身体はなぜ動くのか? ~身体運動の仕組み~ 加藤雄一 教授	データで分かる 農業・森林・昆虫の世界 / 久保田耕平 教授 キミはAIのウソを見破れるか? / 岡本和也 先生

参加は要予約です。大学ホームページより申し込みください。8月2日(土)以降の開催回については大学ホームページにてご確認ください。

# サトエ美術通信

## 紙上特別展 『海への眺望』展

今回は、紙上特別展として『海への眺望』展と題して作品を紹介する。地球規模による温暖化により昨今の夏は酷暑が厳しさを増しているが、夏季の休暇を活用し旅行を計画している読者も多いことであろう。日本の画家達も季節

今回は、紙上特別展として『海への眺望』展と題して作品を紹介する。地球規模による温暖化により昨今の夏は酷暑が厳しさを増しているが、夏季の休暇を活用し旅行を計画している読者も多いことであろう。日本の画家達も季節



田中 保《港と岩》  
1917・20年頃 油彩・キャンパス 45.5×55.6cm



成井 弘《シーボニア・ヨットハーバー》  
1987年 油彩・キャンパス 31.8×41.0cm



西村正次《イア・サントリーニ(エーゲ海)》  
1985年 油彩・キャンパス 89.6×130.3cm



田染幸雄《海(犬吠埼)》  
1984年 油彩・キャンパス 33.2×45.5cm



跡見 泰《松のある海岸風景》  
1930年頃 油彩・キャンパス 45.5×33.5cm



寺井カ三郎《渚にて》  
2007年 油彩・キャンパス 45.8×65.2cm



鳥田三郎《シェルブールのヨットハーバー》  
1980年頃 油彩・キャンパス 114.0×146.0cm



浮田克躬《港 船》  
1953年 油彩・キャンパス 121.0×126.0cm

## 紙上展ミニ解説 『無人灯台』 小川 游

●紙上展ミニ解説 『今月の1点』  
今回も紙上特別展より1点を紹介する。小川游《無人灯台》である。  
なだらかな岩場の上に建つ灯台。青く澄んだ空の背景に同化するように数羽のカモメが灯台の周りを悠然と飛び交う風景が描かれている。筆致や色使いにより、可愛いらしい灯台の姿の中にも、どこか寂寥感が漂う。

絵画作品である。本作は現・千葉県南房総市千倉町にある安房白浜港灯台をモチーフとしている。油彩画家・小川游は、東京藝術大学在学中から幾度となく千倉の海を訪れ絵画を描いており、特に平坦な岩場に建つ「ろうそく」のようなフォルムをした小さな灯台が芸術家を魅了した。本作以外にも、同時期には《無人灯台のある海》(1990、《祀空》1993などを描き、画業においても記念碑的な秀作を手懸けている。

町から街へ、街から都市へのお手伝い

**総合建設コンサルタント**  
(測量・設計・補償・登記)  
**カツミテクノ株式会社**  
本社 埼玉県さいたま市西区三橋6丁目152番地2  
〒331-0052 電話 048-624-4135(代表)  
FAX 048-624-3555  
久喜営業所 埼玉県久喜市東5丁目5番18-405  
〒346-0016 電話 048-044-8912  
FAX 048-044-9918

Omaya Shimizu

一日の出会いも一生の縁。

**結婚式は清水園**  
TEL 048(643)1234

クルマと、つぎの楽しみを。TOYOPEP

トヨタ車なら **埼玉トヨペット!**

埼玉トヨペット  
ホームページアドレス  
埼玉県トヨペット(西武池袋線)  
本社/さいたま市中央区上落合2-2-1  
<http://www.saitama-toyopet.co.jp>  
お客様相談室 定休日/詳しくは各店舗にご確認ください  
**0120-319231**

経験豊富な指導員が **安心サポート!**

学科教習はオンラインでも受講できます!

埼玉県公安委員会指定 **大宮自動車教習所**  
〒337-0045 さいたま市見沼区新右衛門新田111番地  
TEL 048-683-6580 <https://www.omya-ds.co.jp/>

とちぎんアプリ  
銀行の取引をアプリでかんたんに。  
いつでも振込・取引確認・住所変更。

詳しくはこちら

**栃木銀行**

# 令和6年度学校法人佐藤栄学園財務計算書

## 資金収支計算書

自 令和6年4月1日  
至 令和7年3月31日

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	7,305,374,000	7,299,263,080	(6,110,920)	人件費支出	6,982,026,000	6,942,024,582	(40,001,418)
手数料収入	551,401,000	553,180,050	△ 1,779,050	教育研究経費支出	2,412,481,000	2,308,732,068	(103,748,932)
寄付金収入	351,033,000	408,319,423	△ 57,286,423	管理経費支出	917,694,000	858,837,205	(58,856,795)
補助金収入	3,007,106,000	2,940,268,706	(66,837,294)	借入金等利息支出	16,500,000	15,871,195	(628,805)
国庫補助金収入	214,397,000	216,668,012	△ 2,271,012	借入金等返済支出	333,396,000	333,396,000	0
埼玉県補助金収入	2,788,245,000	2,719,136,694	69,108,306	施設関係支出	1,234,572,000	937,291,183	(297,280,817)
さいたま市補助金収入	436,000	436,000	0	設備関係支出	455,261,000	426,779,588	(28,481,412)
その他団体補助金収入	4,028,000	4,028,000	0	資産運用支出	570,685,000	3,215,105,158	(△ 2,644,420,158)
資産売却収入	0	0	0	その他の支出	720,520,000	1,086,854,397	(△ 366,334,397)
付随事業・収益事業収入	454,580,000	633,787,133	(△ 179,207,133)	予備費	300,000,000	300,000,000	0
受取利息・配当金収入	27,816,000	27,946,603	(△ 130,603)	資金支出調整勘定	671,987,000	(△ 821,337,901)	(△ 1,493,324,901)
雑収入	691,851,000	711,246,845	(△ 19,395,845)				
借入金等収入	0	0	0				
前受金収入	1,373,738,000	1,367,397,494	(6,340,506)				
その他の収入	2,763,182,000	3,009,539,890	(△ 246,357,890)				
資金収入調整勘定	(△ 1,526,927,000)	(△ 1,651,807,409)	(△ 125,280,409)				
前年度繰越支払資金	4,038,003,625	4,038,003,625	0	翌年度繰越支払資金	4,422,435,625	4,033,591,965	(△ 388,843,660)
収入の部合計	19,037,557,825	19,337,145,440	(△ 299,587,815)	支出の部合計	19,037,557,825	19,337,145,440	(△ 299,587,815)

## 事業活動収支計算書

自 令和6年4月1日  
至 令和7年3月31日

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	7,305,374,000	7,299,263,080	(6,110,920)	人件費	7,088,038,000	6,984,497,319	(83,540,681)
手数料	551,401,000	553,180,050	△ 1,779,050	教育研究経費	3,783,975,000	3,756,573,172	(27,399,828)
寄付金	351,033,000	408,319,423	△ 57,286,423	管理経費	1,146,883,000	1,088,935,869	(57,947,131)
経常費等補助金	2,939,337,000	2,872,499,706	(66,837,294)	徴収不能額等	0	0	0
国庫補助金	146,628,000	148,899,012	△ 2,271,012				
埼玉県補助金	2,788,245,000	2,719,136,694	69,108,306				
さいたま市補助金	436,000	436,000	0				
その他団体補助金	4,028,000	4,028,000	0				
付随事業収入	452,880,000	631,299,748	(△ 178,419,748)				
雑収入	691,851,000	721,886,619	(△ 30,035,619)				
教育活動収入計	12,206,984,000	12,391,874,013	△ 184,890,013	教育活動支出計	11,998,894,000	11,830,006,360	168,867,640
				教育活動収支差額	208,090,000	561,867,653	△ 353,777,653
				借入金等利息	(16,500,000)	(15,871,195)	(628,805)
				その他の教育活動外支出	(0)	(5,549)	(△ 5,549)
				教育活動外支出計	16,500,000	15,876,744	623,256
				教育活動外収支差額	13,016,000	14,169,859	△ 1,153,859
				経常収支差額	221,106,000	576,037,512	(△ 354,931,512)
				資産処分差額	(4,557,000)	(4,386,384)	(170,616)
				特別支出計	4,557,000	4,386,384	170,616
				特別収支差額	186,830,000	223,603,089	(△ 36,773,089)
				予備費	297,300,000	297,300,000	0
				基本金組入前当年度収支差額	110,636,000	799,640,601	(△ 689,004,601)
				基本金繰入額合計	△ 2,023,229,000	△ 1,353,916,090	△ 669,312,910
				当年度収支差額	△ 1,912,593,000	△ 554,275,489	△ 1,358,317,511

## 活動区分資金収支計算書

自 令和6年4月1日  
至 令和7年3月31日

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	7,299,263,080	記念事業引当特定資産取崩収入	127,342,747
手数料収入	553,180,050	預り金収入	52,276,054
特別寄付金収入	296,192,389	基金金保証金回収収入	120,000
一般寄付金収入	20,000	修学旅行積立預金収入	146,980,972
経常費等補助金収入	2,872,499,706	預託回収収入	32,490
付随事業収入	631,687,133		
雑収入	711,246,845		
教育活動資金収入計	12,364,089,203		
人件費支出	6,942,024,582	小計	326,752,263
教育研究経費支出	2,308,732,068	受取利息・配当金収入	27,946,603
管理経費支出	858,837,205	収益事業収入	2,100,000
教育活動資金支出計	10,109,593,855	その他の活動資金収入計	356,798,866
差異	2,254,495,348	借入金等返済支出	333,396,000
調整勘定等	△ 11,115,899	退職給与引当特定資産繰入支出	32,071,963
教育活動資金収支差額	2,243,379,449	記念事業引当特定資産繰入支出	96,247,195
		大学学部増引当特定資産繰入支出	247,704,000
		修学旅行積立預金支出	39,082,000
		預り金支出	202,208,473
		仮払金支出	2,357,788
		預託金支払支出	134,720
		借入金等利息支出	15,871,195
		その他の活動資金支出計	928,503
		差異	△ 612,274,468
		調整勘定等	0
		その他の活動資金収支差額	△ 612,274,468
		支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 4,411,660
		前年度繰越支払資金	4,038,003,625
		翌年度繰越支払資金	4,033,591,965
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	607,862,808		

※事業活動収支計算書の区分欄、Aは事業活動収入の部、Bは事業活動支出の部となります。

## 貸借対照表

令和7年3月31日

資産の部				負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	62,846,989,916	62,439,541,519	(△ 407,448,397)	固定負債	2,398,156,463	2,709,102,795	(△ 310,946,332)
有形固定資産	36,990,988,851	37,256,666,333	(△ 265,677,482)	長期借入金	1,632,668,000	1,966,064,000	(△ 333,396,000)
土地	17,738,985,074	17,738,985,074	0	退職給与引当金	662,511,572	630,439,609	32,071,963
建物	14,638,971,194	15,118,836,243	(△ 479,865,049)	長期未払金	102,976,891	112,599,186	(△ 9,622,295)
構築物	1,737,352,283	1,430,459,019	306,893,264	流動負債	3,971,719,687	4,073,785,564	(△ 102,065,877)
教育研究用機器備品	1,075,271,892	1,026,714,967	48,556,925	短期借入金	333,396,000	333,396,000	0
管理用機器備品	980,873,102	1,003,137,579	(△ 22,264,477)	未払金	808,728,720	841,231,651	(△ 32,502,931)
図書	716,693,262	707,468,161	9,225,101	前受金	1,367,397,494	1,287,028,021	80,369,473
車両	66,762,044	83,225,290	(△ 16,463,246)	預り金	1,462,197,473	1,612,129,892	(△ 149,932,419)
建設仮勘定	36,080,000	147,840,000	(△ 111,760,000)	負債の部合計	6,369,878,150	6,782,888,359	(△ 413,010,209)
特定資産	25,195,197,540	24,534,646,129	(△ 660,551,411)	純資産の部	70,932,079,931	69,578,163,841	(△ 1,353,916,090)
その他の固定資産	660,803,525	648,229,057	(△ 12,574,468)	基本金	61,709,875,902	60,910,235,301	799,640,601
流動資産	5,232,762,136	5,253,582,141	(△ 20,820,005)	第1号基本金	70,204,079,931	68,850,163,841	1,353,916,090
現金預金	4,033,591,965	4,038,003,625	(△ 4,411,660)	第4号基本金	728,000,000	728,000,000	0
修学旅行積立預金	780,476,678	888,375,650	(△ 107,898,972)	繰越収支差額	(△ 9,222,004,029)	(△ 8,667,928,540)	(△ 554,275,489)
未収入金	364,779,388	294,658,627	70,120,761	翌年度繰越収支差額	△ 9,222,204,029	△ 8,667,928,540	△ 554,275,489
貯蔵品	1,016,292	928,503	87,789	純資産の部合計	61,709,875,902	60,910,235,301	799,640,601
有価証券	4,403,200	4,403,200	0				
前払金	7,562,885	5,205,097	2,357,788				
徴払金	40,931,728	22,007,439	18,924,289				
資産の部合計	68,079,752,052	67,693,123,660	386,628,392	負債及び純資産の部合計	68,079,752,052	67,693,123,660	386,628,392

※その他の固定資産の金額には、収益事業元入金367,832,941円が含まれております。

利害関係者については、情報公開規程により法本部及び各学校事務室において閲覧することができます。

# 令和6年度決算の概要

## 1. 資金収支計算書

資金収支計算書は、学校法人の当該会計年度の諸活動に対応する、すべての収入・支出の内容を明らかにし、かつ支払資金の収支の顔末を明らかにするものです。

### (1) 資金収支計算書(主なもの)

(収入の部)

収入の基本である学生生徒等納付金収入は72億9千9百万円となり、学生・生徒・児童の法人全体の在籍者数は10,800名(5月1日現在)、前年度の在籍者数10,951名との比較では151名減少しました。寄付金収入は4億8百万円となり、主なもの各種団体(保護者会・生徒会等)及び特定公益増進法人による企業・保護者等からの寄付金となります。補助金収入は29億4千万円となり、経常費(運営費)補助金、父母負担軽減事業補助金等となります。付随事業・収益事業収入は6億3千3百万円となり、補助活動事業収入(進学補習・購買・食堂等・施設利用料)及び収益事業収入(不動産賃貸業)となります。その他の収入は30億9百万円となり、前年度繰越支払資金を除いた当年度の収入は152億9千9百万円となりました。

(支出の部)

支出の大半を占める人件費支出は69億4千2百万円となり、本務教職員給与、兼務教職員給与、退職金等の支出であり、教職員数は、1,054名(5月1日現在)となります。教育研究経費支出は23億8百万円となり、各設置学校の教育研究諸活動に必要な消耗品費支出、光熱水費支出、奨学費支出、修繕費支出、支払報酬手数料支出等が主な支出であり、その中で奨学費支出の占める割合が約20.0%となります。管理経費支出は8億5千8百万円となり、各設置学校全般に係る管理経費、学生生徒募集経費、法人運営に必要な諸経費等となります。借入金等返済支出は、複数の市中金融機関から借入した返済金3億3千3百万円となり、計画的な負債の償還に努めております。施設関係支出は9億3千7百万円となり、主なものは、建物支出として、栄東高等学校のランニングコモンズ導入食堂改修工事、花咲徳栄高等学校の第1体育館・武道館空調更新工事、栄北高等学校の体育館改修工事となっております。構築物支出として、平成国際大学のサッカー場・野球場改修工事となっております。設備関係支出は、4億2千6百万円となり、主なものは、教育研究用機器備品支出として、生徒用端末機器購入費用となり。資産運用支出は、32億1千5百万円となり、主なものは減価償却引当特定資産、施設拡充引当特定資産等への積み増しを行いました。翌年度繰越支払資金を除いた当年度の支出は153億3百万円となりました。

## 2. 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、当該会計年度における事業活動収入、事業活動支出の内容及び事業活動収支の均衡状態とその内容を明らかにし、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを示すもので、計算目的に違いはありますが、いわば企業会計の損益計算書に当たるものです。また、「教育活動収支」・「教育活動外収支」・「特別収支」の3つに区分することで、経常的(教育活動収支及び教育活動外収支)・臨時的(特別収支)な収支バランスの状況を的確に把握することができます。

経常収支差額+特別収支差額=基本金組入前当年度収支差額 【当期利益(損失)】

資金収支と事業活動収支には違いがあり、事業活動収支には、非資金取引が含まれています。収入では、現物寄付のように、物での寄付を価額として計上するもの、支出では、減価償却額のように資金(お金)の支出を伴わないで経費となるものがあり、これらを含めた収支の状況により経営状態を判断することとなります。

### (1) 事業活動収支計算書(主なもの)

教育活動収支の事業活動収入は、学生生徒等納付金、手数料、寄付金、経常費等補助金等で123億9千1百万円、事業活動支出は、人件費、教育研究経費、管理経費等で118億3千万円となり、教育活動収支差額は5億6千1百万円となりました。

教育活動外収支の事業活動収入は、受取利息・配当金、その他の教育活動外収入で3千万円、事業活動支出は、借入金等利息、その他の教育活動外支出で1千5百万円となり、教育活動外収支差額は1千4百万円となりました。また、経常的な収支バランスを見ることが出来る経常収支差額は5億7千6百万円となりました。

特別収支の事業活動収入は、その他の特別収入で2億2千7百万円となり、主なものは、施設設備の寄付金が1億1千2百万円となります。特別収支差額は2億2千3百万円となりました。

3つの区分の収支差額合計が基本金組入前当年度収支差額となり、企業会計の損益計算書に置き換えた場合、プラスであれば当期利益、マイナスであれば当期損失の考え方となります。

法人全体の基本金組入前当年度収支差額は、7億9千9百万円のプラス、事業活動収支差額比率は6.32%となりました。

## 収益事業貸借対照表

令和7年3月31日 現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	52,191,965	流動負債	1,392,420
現金預金	51,571,565	未払金等	1,392,420
未収入金	620,400	負債合計	1,392,420
固定資産	349,669,805	純資産の部	
構築物	7,265,464	元入金	367,832,941
土地	342,404,341	利益剰余金	32,636,409
資産合計	401,861,770	純資産合計	400,469,350
		負債・純資産合計	401,861,770

## 収益事業損益計算書

自 令和6年4月1日  
至 令和7年3月31日

(単位:円)	
売上高	8,884,040
買掛料収入	8,884,040
売上総利益	8,884,040
販売費及び一般管理費	(6,275,169)
営業利益	2,608,871
経常利益	2,608,871
学校会計繰入前利益	2,608,871
学校会計繰入金	2,100,000
税引前当期純利益	508,871
法人税・住民税及び事業税	376,200
当期純利益	132,671

## 3. 貸借対照表

貸借対照表は、その法人の期末における財政状態を表すものです。令和6年度末(令和7年3月31日)の貸借対照表の状況は次のとおりです。

### (1) 資産の部

有形固定資産は、土地、建物、構築物等で369億9千万円、特定資産は、減価償却引当特定資産、施設拡充引当特定資産等で251億9千5百万円、その他の固定資産は、施設利用権、電話加入権、ソフトウェア等で6億6千万円、固定資産合計628億4千6百万円となりました。流動資産は、現金預金、修学旅行積立預金、未収入金等で52億3千2百万円となり、資産全体では680億7千9百万円となりました。

### (2) 負債の部

固定負債は、長期借入金、退職給与引当金、長期未払金で23億9千8百万円、流動負債は、短期借入金、未払金等で39億7千1百万円となり、負債の部合計では、63億6千9百万円となりました。

### (3) 純資産の部

基本金は、第1号・第4号基本金合計で709億3千2百万円、繰越収支差額は翌年度繰越収支差額で△92億2千2百万円となり、純資産の部合計617億9百万円、負債及び純資産の部合計680億7千9百万円となりました。

## 4. 収益事業会計決算書

寄附行為上の収益事業として、不動産賃貸業(月極駐車場等)を行っています。

# 2025 夏の甲子園を目指して 高校野球埼玉大会が始まる

## 日頃の練習の成果を発揮して、本学園の高校4校が139チームの頂点へ挑む

第107回全国高校野球選手権埼玉大会の組み合わせ抽選会が6月18日に実施され、出場139チームの対戦相手が決定した。大会期間は7月9日から27日で、優勝チームが全国高校野球選手権大会(8月5日から22日:甲子園)に出場する。本学園の高校4校は、甲子園を目標に練習に励んでいるが、夢の実現に向かってそれぞれの健闘を祈る。

### 埼玉栄高校

本校の初戦は7月12日、アイル・スタジアム浦和で鶴ヶ島清風高校と対戦します。今年のチームは投手陣を軸とした、安定した守備からリズムを作るチームです。春季大会では花咲徳栄高校に惜敗しましたが、伝統である守備力を生かし、チーム一丸となって1998年以來の甲子園を目指します。応援よろしくお祈いします。



### 花咲徳栄高校

春季大会をベスト8という成績で終えた花咲徳栄高校野球部は、今大会Cシードとして大会に臨みます。初戦は7月11日、県営大宮公園球場にて与野高校との対戦となります。秋春大会の悔しさをバネに部員全員が練習に励んできました。一戦一戦を積み重ね、昨年に引き続き甲子園出場、埼玉県大会2連覇を目標に邁進してまいります。皆様のご声援よろしくお祈いします。



### 栄東高校

本校の初戦は大会5日目の7月13日、県営大宮公園球場で県立浦和高校との対戦となります。今年のチームは主将を中心に、練習メニューから試合のスターティングメンバーまで選手たちで決めるなど、常に思考を止めることなく野球に取り組んできました。大会本番でもその思考力を生かして勝機を見出し、3回戦、4回戦と勝ち進めるように全力でプレーします。ご声援のほどよろしくお祈いします。



### 栄北高校

本校の初戦は大会3日目の7月11日、レジスタ大宮でBシード川越東高校と対戦します。2大会連続で悔しい想いをしましたが、冬場からの練習の成果がようやく形になってきました。強豪校相手に最後まで粘り強く、栄北らしい全員野球で臨みますので、ご声援のほどよろしくお祈いします。



## 埼玉大会組み合わせ

### 決勝 7月27日

